

(連結業績概要)

2017年度 連結業績

(単位:百万円)

	16年度 ①	17年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	17,222	21,752	+4,529	26.3%
営業利益	1,565	1,559	△8	△0.4%
経常利益	1,833	1,868	+34	1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,068	1,508	+439	41.1%

(注) ・17年度には、2017年1月に子会社化しました株式会社セイタンの業績寄与があります。

影響額は、売上高で3,348百万円、営業利益で180百万円

・17年度には、特別利益として投資有価証券売却益305百万円、出資金譲渡益102百万円を計上し

一方、特別損失として中国子会社撤退による関係会社整理損58百万円を計上しています。

【期末配当】 17.0円 (年間 17.0円、前期比+3.0円)

2018年度業績見通し

(単位:百万円)

	17年度 ①	18年度見通し			前年度比増減	
		上期	下期	計 ②	②-①	増減率
売上高	21,752	11,200	11,000	22,200	+447	2.1%
営業利益	1,559	950	800	1,750	+190	12.2%
経常利益	1,868	1,050	900	1,950	+81	4.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,508	650	700	1,350	△158	△10.5%

(18年度見通しポイント)

- 売上は、鍛造事業で i 国内乗用車・商用車関連は横這いで推移見込 ii 大型建機向けは引続き堅調に推移見込 iii タイ子会社で新規量産品の立上げをする 等から全体的には増収を見込む。
- 損益面は、売上高増加により、経常利益段階までは増益を見込む。但し、前期出資金譲渡したことにより受取配当金は減少見込。
当期純利益は、前期計上した特殊要因(上記「2017年度 連結業績」注記参照)が無くなることから減益を見込む。
- 18年度のタイ・パーツ換算レートは、3.35円/パーツ(17年度実績比△0.11円/パーツ)で予想しています。

1.セグメント別 売上高・営業利益の状況

(単位:百万円)

		16年度 ①	17年度 ②	前期比増減	
				②-①	増減率
鍛造事業	売上高	13,813	18,041	+4,227	30.6%
	営業利益	1,414	1,498	+84	6.0%
建機事業	売上高	2,293	2,094	△199	△8.7%
	営業利益	402	279	△123	△30.7%
物流事業	売上高	951	1,439	+488	51.3%
	営業利益	71	89	+18	25.3%
不動産事業	売上高	164	176	+12	7.6%
	営業利益	72	85	+13	18.2%
セグメント計	売上高	17,222	21,752	+4,529	26.3%
	営業利益	1,906	1,953	△7	△0.4%
全社費用		△394	△394	0	—
損益計算上の営業利益		1,565	1,559	△6	△0.4%

(注)2017年1月に子会社化した株式会社セイタンの業績は鍛造事業に計上しています。

2.鍛造事業の内訳

①生産国別 売上高の状況

(単位:百万円)

	16年度 ①	17年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
国内売上高	7,550	11,485	+3,934	52.1%
タイ国売上高	6,262	6,556	+293	4.7%
合計	13,813	18,041	+4,227	30.6%
(参考) タイ・パーツ換算レート	3.25円	3.46円	※タイ国売上高増加のうち、パーツ高により398百万円増加しています。	

②用途別 売上高状況 (注)用途区分の一部見直しを実施し、前期実績を一部修正しております。

	16年度 ①	17年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
自動車産業向け	10,123	13,553	+3,429	33.9%
建設機械産業向け	3,690	4,488	+798	21.6%
合計	13,813	18,041	+4,227	30.6%

※自動車産業向けには、乗用車・商用車・トラック・フォークリフト向けを含みます。

※建設機械産業向けには、産業機械向け・建築部材向けを含みます。

3.営業外損益内訳

(単位:百万円)

	16年度 ①	17年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
営業外収益	314	372	+57	0.5%
受取利息	42	40	△1	△12.0%
受取配当金	141	201	+59	△4.0%
スクラップ売却益	20	26	+5	+14.0%
その他	109	103	△6	+10.8%
営業外費用	46	63	+16	+71.0%
支払利息	6	9	+2	△12.8%
金型廃却損	29	47	+18	+103.1%
その他	10	5	△4	△102.4%

(注)上記受取配当金には、17年度末に出資金を譲渡した合併会社からの配当を含みます。

[参考]16年度受取額 37百万円 17年度受取額 76百万円

(注)金型廃却損増加要因には、株式会社セイタンのグループ化による計上が含まれます。

4.設備投資・減価償却の状況

(単位:百万円)

	16年度 ①	17年度 ②	前期比増減		18年度 (期初計画)
			②-①	増減率	
設備投資額	2,076	1,174	△902	△43.5%	1,150
(うち 鍛造事業)	(860)	(1,144)	(283)	+32.9%	(1,000)
減価償却実施額	1,039	1,153	113	+10.9%	1,150

◎ 17年度設備投資の主な内容

- ① 鍛造事業タイ子会社アクスルシャフト第3ライン新設ならびに既存ライン改造 306 百万円
- ② 鍛造事業国内鍛造工場屋根更新(LED化含む) 291 百万円
- ③ 国内外鍛造工場の設備改修工事 等 577 百万円

◎ 18年度設備投資予定の主な内容

- ① 鍛造事業タイ子会社アクスルシャフト加工ライン更新工事 170 百万円
- ② 建機事業つくば機材センター増設工事(土地取得含む) 150 百万円
- ③ 国内外鍛造工場の設備改修工事 等 830 百万円